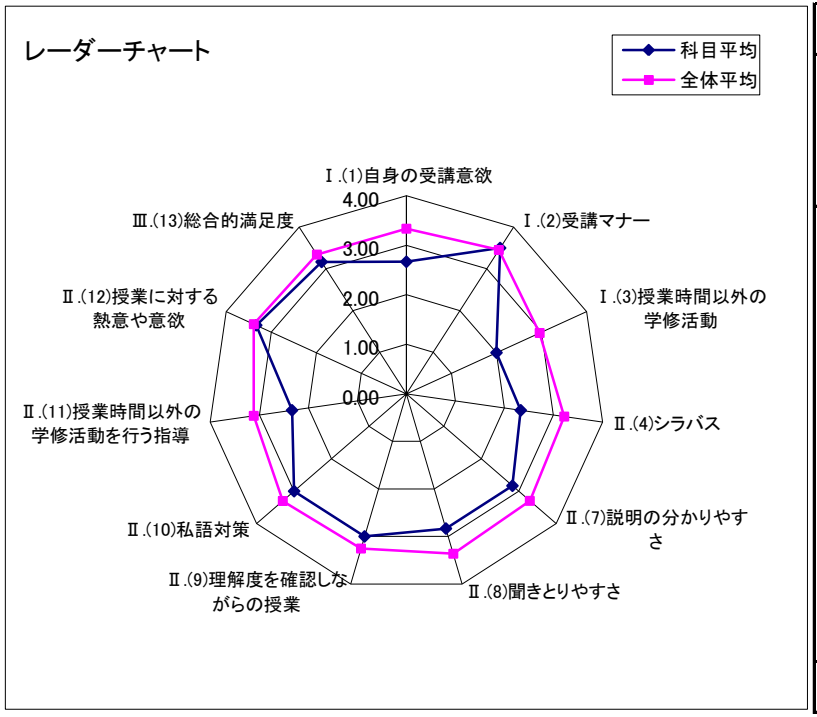
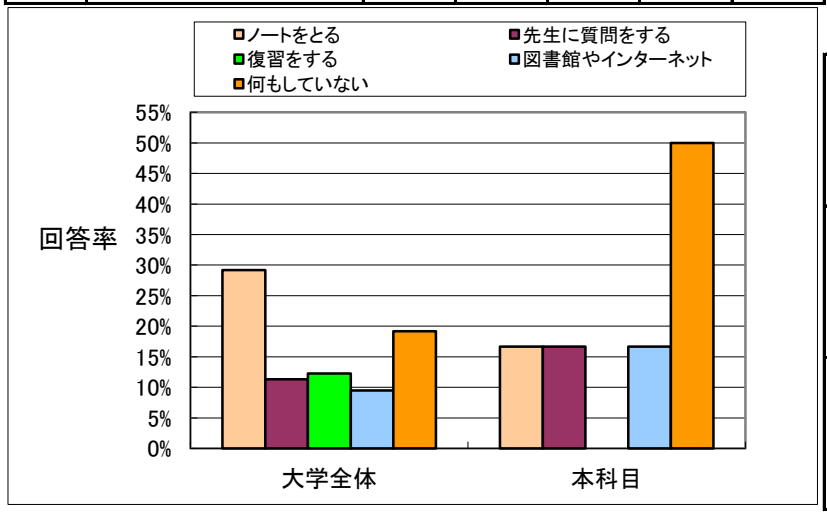
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	2.67	3.33
	Ⅰ.(2)	3.50	3.45
	Ⅰ.(3)	2.00	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.33	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.83	3.30
	Ⅱ.(8)	2.83	3.36
	Ⅱ.(9)	3.00	3.25
	Ⅱ.(10)	3.00	3.30
	Ⅱ.(11)	2.33	3.11
	Ⅱ.(12)	3.33	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.17	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.72	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	2.81	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.17	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	4227
科目名	インターネット英語Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスの授業計画どおりに授業運営ができていたかどうかについてであるが、学生の評価は半々であったが、こちらとしてはほぼシラバスどおりに進行し終わらせることができたと思う。授業の難易度についても、学生の評価は半々であった。学生はすべて4年生以上であり、しかも再履修を繰り返していた学生がほとんどであったため、選ぶ教材の難易度についてはこれでもかなり苦慮はしたつもりである。

②授業の進め方について

説明の分かりやすさ、聞き取りやすさ、理解度確認については、おおむね肯定的な評価が得られたと思う。私語など授業環境についても、受講者数がわずかであったせいもあるが、肯定的な評価が得られたと思う。学生の授業満足度については、全員が肯定的に評価してくれた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

今年度は履修者が4年生以上であったため、出席状況や授業の進め方については心配な点は多かったが、どうにかうまく乗り切ることができたのではないかと思う。しかし、次年度のインターネット英語Ⅰ・Ⅱは履修者が5年生以上となるため、出席1つにしてもこれまで経験したことのないような困難が待っているのではないかというのが正直なところである。しかし単位の取れていない留年生が現に在籍している以上、今年度以上に全力で対処できるよう準備と工夫をしていくほかはないと思う。

奈良産業大学